

第4班 意見交換会 議事録

会議名	北海道TMRセンター連絡協議会令和5年度春の意見交換会		
日時	令和6年4月8日（月）	場所	第2水産ビル8階 会議室
出席者 (敬称略)	オホーツク：(株)こしみずエコフィードサービス、宗谷：(有)みどりの開明、宗谷：(有)CF T、 宗谷：(有)浜頓別エバグリーン、根室：(同)酪援・緑、十勝：(株)鹿追町TMRセンター		

意見交換会で話し合った話題（TMRセンターの抱える問題に関して等）

項番	発言者	内容
1	(株)こしみずエコフィードサービス	でん粉粕、ビートパルプをうまく活用することからスタート。ビートパルプは1年で頓挫。草地250ha。
2	(有)みどりの開明	立ち上げ19年、担い手不足が課題。温暖化の影響で秋が長くなり草の刈りに影響。
3	(有)CF T	構成員8件、天候に恵まれずデントコーン発育が良くなかった。預託牧場も行っている。人材確保が課題。
4	(有)浜頓別エバグリーン	農作業は外部委託。ロール梱包、TMR配送、糞尿処理も外部委託していた。外部委託先が撤退し委託先を全て自社で雇用。福利厚生を一般企業並みに熱くすることで人材確保を図っている。構成員の内3件が後継者。
5	(同)酪援・緑	肥料～糞尿処理は構成員、他は外部委託。7件の構成員。草地550ha、毎年10%程草地更新している。
6	(株)鹿追町TMRセンター	デントコーン360ha、草地440ha、構成員17戸→16戸→13戸（法人化4件、離農1件）
7人材確保と後継者 問題について	(株)鹿追町TMRセンター	離農者の農地管理が課題。今までは離農した土地の引き受け問題があったがここ1~2年はブレーキ。中山間R7年まで有料草地は守り、以外の草地を別の利用目的に転換する施策を作してほしい。
	(同)酪援・緑	構成員の牧場の従業員がシート掛けタイヤ乗せ作業を行っている。
	(株)鹿追町TMRセンター	センター作業5000円/時で行っている。30分で行っている。
	(株)こしみずエコフィードサービス	シート掛け、タイヤ乗せをしなくても良質なサイレージを作る方法が・・・
	(有)浜頓別エバグリーン	最新の機械を使ってもメンテナンスで時間がかかる（遠方の場合、出張調整で1週間かかる）。4~5年前から20代の人々が入社し、コミュニティおw作って教え合い、競い合っている。
	(有)浜頓別エバグリーン	農家がセンターを運営する時代から従業員が経営力をつけて運営する時代に。
8	(株)こしみずエコフィードサービス	草地更新はセンターで行っているのか。
	(有)みどりの開明	事業で行っている。
	(同)酪援・緑	バラツキはあるが基本的には事業関係で行っている。チモシーは30℃以上で発芽するが伸びない。10年つかうばくそうちを作る。標津町はデントコーンが作れない。
9生乳メーカーの 工場再編問題		旭川のメーカー工場が恵庭に移転。旭川近郊の生乳は恵庭に運んでいる。長距離輸送問題（運賃は農家持ち）。
		中標津のメーカー工場はプロテインの制作も検討している（現在は輸入）